

我が学びや

令和6年11月12日
白川小 学校便り No.9

文責:校長 村上剛史

学校教育目標: 自他を大切に、よく聞き、ともに学び続ける白川小の子ども
～児童理解を基盤として、みんなでみんなを育て、一人一人の輝きを引き出す教育の推進～

重点目標: 伝えよう・聞こう・わかろう～心と体の元気づくり～

やっと秋らしい気候となってきました。

運動場の防球ネット・バックネットの新設と低鉄棒・滑り台等の再設置の工事が、いよいよ大詰めを迎えようとしています。長い間、ご不便をおかけしてきましたが、ご協力ありがとうございました。

実りの秋にふさわしく、様々な場面で白川小の子どもたちのきらきらと輝く姿が見られました。

◆6年生 長崎にて平和を誓う

6年生が、10月10日(木)11日(金)、長崎に修学旅行に出かけました。事前に平和学習を進め、現地での貴重な体験を通してより深い学びになったことでしょう。

何より特筆すべきは、6年生の白川小最上級生としての立ち居振る舞いです。関わってくださった多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。とても誇らしく思った二日間でした。卒業まで、白川小の誇れるリーダーとして、下級生の憧れの存在であり続けてほしいと思います。



〔平和集会〕
追悼を捧げ、心を込めて
平和の誓いを歌う6年生



〔被爆講話〕
戦争、そして、
核の恐ろしさが心に響く

◆人権の花運動～人権教室～

10月17日(木)に低学年と高学年に分かれて、人権に関わる動画視聴と人権擁護委員による講話がありました。低学年では「ねずみくんのきもち」を視聴後、「思いやり」について感想交流を行いました。思いやりとは、相手へ「おもい」を「やる」こと、すなわち相手の気持ちや立場を想像することが大切だということを学びました。高学年は「いじめ」が起こっているときの周りの子に視点を当てて、自分自身と重ね合わせながら考えました。こんな場面に遭遇した時、「どうすればいいのか」の具体例を知ることができました。

◆学習発表会【みんなが一体となって発表を楽しんだ!】

荒天の中、大変多くの皆様にご観覧いただき、心より感謝申し上げます。

9月からひとつひとつ練習を積み重ねて当日を迎えました。

ひとりひとりの表情が、実に生き生きとしており、誰もが自信をもって発表していました。躍動感と響き渡る声に心が震えたのを覚えています。

一方、発表を聞いている誰もが笑顔で、曲に合わせて体を左右に揺すったり、手拍子をしたり、動きを真似たりと一体となって盛り上げているようでした。「楽しませたい」という発表側の思いと「発表を

楽しんでほしい、練習の成果を発揮してほしい」という聞く側の思いが一体となっているように感じました。

「積み重ねた小さな一歩が大きな変化をもたらす」そんなことを感じました。

最後は温かいアンコールの声ありがとうございました！



アンコールいただき、
演奏する6年生
応え

◆【校区体育祭】・【親児の会プレイランド】 ～心と体の元気づくり～

10月20日（日）本校体育館にて「白川校区体育祭」が開催され、参加したみなさんの大声援の中、競技が盛り上がり、親睦を図る素敵な時を過ごすことができました。

また、27日（日）には、本校体育館にて「親児の会プレイランド・山女魚のつかみ取り」が開催され、特設のプレイコーナーでゲームを楽しんだり、特設プールの中に入って山女魚のつかみ取りに挑戦したりと、楽しいひと時を過ごしました。

いずれも自然に体が動き、自然に心地よくなり、自然と笑顔になるイベントで、まさに本校が推進している「心と体の元気づくり」と合致する取組を地域、保護者のみなさんが開催してくださっています。白川小が「地域とともにある学校」であることを改めて感じました。

関係の皆様には、企画・準備・運営・撤収ととても苦労されたことと存じます。心より感謝します。



校区体育祭



プレイランド



山女魚のつかみ取り

◆本校職員の研修会～心と体の元気づくり～

本年度、本校は「健康教育～心と体の元気づくり～」の実践研究に取り組んでいます。概要としては、教科体育、道徳教育、特別活動、各教科、社会生活トレーニング・感情教育の5観点からの実践により、非認知能力の育成と心理的適応力の向上を図り、心と体の元気づくりにつなげていくことを目指しています。

先般、各領域の実践研究を全職員で共有し、学校総体として取組を進める方策等を検討しました（写真左下）。さらに、講師に感情教育の先進的実践家を招き、具体的な進め方を全職員で共通理解できました（写真右下）。11月下旬から毎月1回のペースで白川タイムにおいて実践を重ねていきます。すべての領域において、11月下旬から、研究授業等を実施して検証を重ねていきます。



2年生
を楽しむ
授業づくり
について
対話を生み出し、
対話



スリンプル
プログラムの
により、
子ども
の関わり
合いが
変わる